

# まーぼー通信

まーぼー（本名：柳井政和）某市非常勤職員。  
某職業訓練機関のキャリアコンサルタント等々。  
社会保険労務士、社会福祉士、精神保健福祉士、  
産業カウンセラー。

## 「地震雷火事親父」と「雷親父」

「地震雷火事親父」は、どれも、何の前ぶれもなく突然やって来る、恐ろしい事柄を怖い順に並べていますが、最後の「親父」には、諸説あります。

- Ⓐ「地震雷火事大山嵐」（じしんかみなりかじおおやまじ）や「地震雷火事大風」（じしんかみなりかじおおやじ）になり、語呂合わせで、（じしんかみなりかじおやじ）に変化したという説。
- Ⓑ過去の親父という存在は一家の家長として、「地震」「雷」「火事」と匹敵するほど恐ろしい存在であったので、「地震雷火事親父」という説。

筆者は、Bを現代版として、「近所の雷親父」と解釈したい。筆者は同じマンションに20年以上在住。挨拶もまともに教えられない親御さんが多い中、前管理人さんは、「近所の雷親父」として、住民の特に小さい子どもに挨拶を教えていました。

中学生ぐらいから、引っ越してきた子どもは、ろくに挨拶もできないのに、小さい時から住んでいる子どもたちが、高校生・大学生・社会人となっても、エレベーターの中でしっかりと筆者に挨拶してくれる。この子も大きくなったなあ実感できます。

そんな当たり前のことを他人様に教えてくれる「雷親父」が、近所に多くいてくれれば、もし、「地震雷火事」に遭遇しても、心強いと筆者は思います。とは言っても、なかなか「雷親父」になれない意気地なしの筆者です。皆さんの近所には、お節介といわれても、ひるまない「雷親父」はいいますか？

